

第51回

【テーマ別】

市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成25年6月28日

○会 場 武蔵野商工会館 市民会議室

武 蔵 野 市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そしてテーマを決めないで実施する「青空タウンミーティング」がごございます。

テーマ別では、「商店街の振興」や「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「地域で育てよう！武蔵野の子ども」「災害時に試される地域力」などを開催しています。また、学生やシニアの方、外国人の方たちとまちづくりや活躍の場などについて意見交換を行いました。

今回は、武蔵野市立第四中学校 父親懇談会有志の協力により、「第51回市民と市長のタウンミーティング」として、武蔵野市の魅力や課題について話し合いましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長

邑上守正

概 要

1. 日 時 平成25年6月28日（金）
午後7時～8時30分
2. 場 所 武蔵野商工会館 4階 市民会議室
3. 協 力 武蔵野市立第四中学校 父親懇談会有志
4. 参加者数 27人（傍聴者含む）
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正
6. 司 会 武蔵野市立第四中学校 父親懇談会 田中 秀明
市民部市民活動担当部長 大杉 由加利
7. テ ー マ 『武蔵野の魅力～「おやじ」の視点から～』

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 「武蔵野の魅力～『おやじ』の視点から～」をテーマにした意見交換（要旨）	
1. 地域での子育て支援について.....	3
2. ごみ、たばこのポイ捨てについて、コミュニティの成熟について.....	3
3. 子どもの体力増進について.....	4
4. 自由に使えるスポーツ施設、陸上競技場の設備について.....	5
5. 土曜学校、子どもが遊べる複合施設、お祭りについて.....	6
6. 市内企業との協力、広報について.....	6
7. 市民活動支援、児童館、子ども向けの文化イベントについて.....	7
8. 学校給食について.....	8
9. 武蔵野の魅力（海外との比較の中で）、シニアの力について.....	10
10. 駐輪場の整備について.....	12
11. 町内会、コミセンの役割について.....	13
12. 災害時の中学生との協力について.....	15
13. 地域活動への参加を促す仕組みについて.....	15
14. 市民活動支援について.....	16
15. 学校解放について.....	18
(3) 閉会のあいさつ	19
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針.....	20
3. アンケートでいただいた感想	29

— 付属資料 —

第51回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】



皆さん、こんばんは。月末のお忙しい中、参加いただきましてありがとうございます。

今までタウンミーティングを50回、延べ4,000人以上の方と意見交換してきましたが、このたびのようにテーマを設けて行うものについては、例えば、昨年、市内在住の外国人の方と行き、生活感のあふれる質問が出ました。また、亜細亜大や成蹊大の学生とも意見交換を行い、若い視点でいろいろな意見をいただいて、よかったのではないかと思います。日ごろなかなか市に対して意見が言えない人をこれからもっと掘り下げて、いろいろな意見をいただきたいし、この会がきっかけで、皆様の地域とのかかわり合いがもっと広がればと思います。

いきなり話をするというのも難しいので、私から課題提案や武蔵野市の状況をお話してみたいと思います。武蔵野市の人口は昭和40年代からずっと13万人だったのですが、この5月1日に14万人になりました。現在の武蔵野市の開発状況から見ると、これからも人口が微増していくと思われれます。と同時に、今、少子化と言われてはいますが、武蔵野市の場合は子どもの人口が少し増えてきています。

しかしながら、いろいろ課題もあり、保育園の待機児がなかなか解消できずにいます。また、一部の学校では教室が足りなくなり、増築工事に入るという今の都市部では、大変珍しい取り組みをやっています。子どもたちが増えるというのうれしい限りでありますので、早急に課題解決に向かっていきたいと思っています。

そして、武蔵野市の特徴というのは、人口が14万人ですが、世帯数が7万3,000世帯なので、平均すると1世帯に2人いません。つまり、武蔵野市の世帯の半分は単身世帯です。もちろん、お隣同士で親御さんが世帯に分かれて単身ということもあるでしょうけれども、若い人の単身者だけでなく、高齢の単身者が増えてきているという課題があります。そういう高齢者の見守りも我々はどうしたらいいのかということがあります。

さきほど、人口の話をしました。この数字は定住人口（夜間人口）の数字です。しかし、実は武蔵野市は昼間のほうが人口が多いのです。昼間人口には、外に働きに行った人は除かれ、逆に武蔵野市内で働いている人、武蔵野市内で学校に通っている人、これをあわせて昼間人口と言います。昼間家にいる人も含めて、その人口が15万5,000人という数字なんです。昼夜間人口比率では、110%という数字なのですが、他の周りの市は100%ありません。つまり住宅都市ですが、武蔵野市の場合は吉祥寺という繁華街があって、事業所も多く、大学も市内に3つもあるので、昼間人口も多いということです。

我々の市民サービスは定住者だけではなくて、日中過ごされる方に対してもいろいろなサービスをします。私は市民というのは住んでいる方だけではなく、ここに来られて活動される方

も含めて市民と言っていると思っております。また、昼間に大地震などが起こったときには、昼間いる方にいろいろな手助けをしていただかないと、子どもたちの安全なども含めてなかなか厳しいと思っておりますので、昼間の市民にいかに協力いただくかということも課題ではないかと思っております。

武蔵野市は単身者も多いということもあって、コミュニティがあまり密ではないという地域が多くあります。もちろん皆さんの地域のように、おやじの会などの地域の活動が盛んなところもあるでしょうが、全市的にはそういうネットワーク化がされていません。ちなみに武蔵野市内の町会、自治会の加盟率が、世帯数でいうと 10% ちょっとしかありません。例えばコミセンにかかわっているとか、あるいは地域の会にかかわっているとかそういうコミュニティはありますが、町会とか自治会というピラミッド構造の密な組織はありませんので、なかなか市と地域との関係も得難いのです。したがって、防災、防犯、福祉、子どもたちの見守り、健全育成も含めて地域が行うという姿の確たるものがなかなかございません。今日も練馬区で児童を狙った事件がありました。そういうときに地域の人たちが見守りをして、子どもたちの安全を確保するとか、そういうことができる体制をとりたいと思っても、そのベースになる地域のコミュニティが武蔵野では密でないということもあって、どうやったらそういうコミュニティ形成ができるかというのが 1 つの課題だと思っております。

それから、子どもたちの子育ては当然のことながら、各家庭でするものですが、子どもはそれだけでは育ちません。やはり地域とのいろいろなつながりがあって初めて地域性を学んで成長すると思っておりますので、どうやって子どもたちを地域で見守り、育てられるのかというのが、これも 1 つの課題ではないかと思っております。

そして、3 点目はここにいる皆さん方は、いろいろなネットワークを組まれている方もおられますが、例えば、サラリーマンの方だと家に寝に帰って来る程度という人が圧倒的です。しかし、武蔵野市民であれば、武蔵野市の生活をもっと楽しんでいただきたいし、幸せな生活とは何かということをもっと考えていただきたいと思っております。武蔵野市で幸せに暮らすとしたらどんなことが必要なのか、市として何をやらないといけないのか、あるいは地域として何をやらないといけないのか。それをぜひ皆さん方の視点で考えていただき、意見交換ができればと思っております。

(2)「武蔵野の魅力～『おやじ』の視点から～」をテーマにした意見交換（要旨）

【司会（四中父親懇談会 田中 秀明さん）】



第四中学校のPTA会長を本年度務めさせていただいています。先ほど市長からお話がありましたけれども、おやじ世代の方が意外とタウンミーティングに参加できないということで、どうしたら人が集まりますかという相談をいただきまして、四中は父親懇談会というのがあるから、その辺から声かけてみますかということで、関わらせていただきました。慣れない司会で皆さんにご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

まず、武蔵野市民として武蔵野の魅力ということを考えていきたいと思います。何人かお話しただいて、それについて皆さんにご意見いただければと思います。

1. 地域での子育て支援について

【ご意見】

八幡町に住んでいる。私は、生まれも育ちも武蔵野市で、結婚して家を買うときも八幡町と緑町に限定して知り合いの不動産屋に頼み家を買った。私自身は子どものころから武蔵野市しか知らないの、他の市と比べてどうなのかというのがわからないが、武蔵野市にずっといたいと思っている。

今、お母さんたちもお父さんたちも月曜日から金曜日の日中だけの仕事ではなく、土日も仕事があったり、夜も朝も泊まりだという仕事をしている人も昔よりも増えている。

そうすると子どもを預ける学童クラブや保育園などの環境が充実してくると、もっと子育てしやすくなる、そういう環境になってくれるといいと思う。市ばかりにお願いするわけではなく、我々もそれぞれの立場の中でどういうふうにしていったらいいかと考えていきたい。今日のタウンミーティングも、もしかしたらタウンミーティングの中では遅い時間設定なのかもしれないが、9時とか10時だともっと大勢のお父さんが、仕事を終わった後に来られる。時間設定もそうだが、本当に父親ももっと関わりやすい活動が地域の中でも市のやられる行事でもあるともっといいのかと思う。子育てという部分をもっと充実していき、武蔵野市に住んでいてよかったと思えるような方向に、みんなの気持ちが高まっていったらいいと思い参加した。

2. ごみ、たばこのポイ捨てについて、コミュニティの成熟について

【ご意見】

北町に住んでいる。四中の近くに住んでおり、朝、市営プール前のバス停まで歩いて通っている。娘が四中の卒業生で、この前を通るとこは娘が通っていた学校だと思いながら、かつ、娘がお世話になった先生とも会う機会があり、挨拶を交わすという何気ない光景がふだん続いている。ただ1つだけ残念なことがあって、中学校の生け垣にごみが必ず捨ててある。

ただ、その一方で非常に感心するのは、その次の朝に来ると、確かにまたごみは落ちているが、それはまた違うごみだ。つまり、誰かがちゃんと片づけてくれる。学校の人かもしれないが、非

常に感心している。あと、私は夜型の人間で、深夜まで起きていることが多いが、総合体育館の近くにスケートボードができる施設がある。深夜の2時とか、四中近くのセブンイレブン前をスケートボードを転がしながら帰ってくる人がいるが、落ちているごみがセブンイレブンの袋なので、そういう人が夜、コンビニで買い食いして捨てていくということも考えられる。若者にとってはいいまちではある一方で心の支えを確立させるようなものがない部分もあるのかと思う。

若者のまちと言いながら、大人に向かっての自立を促すということの大切さ、そういったものが備わっていないと、これからの武蔵野を考えた場合、ただ若い人が増えればいいということではなくて、そういったことをきちんとやってあげられる親とか大人とか、気づいた限りにおいては注意ができて、しかも注意するとちょっと恐いので、そういったときもちゃんと周りがフォローしてくれる体制があったらいいと思う。つまり、コミュニティとしての成熟になると思うが、そういったものがあればいいと考えている。

【司会】

私の家は、10メートル先が練馬区というところで成蹊大学のグラウンドの裏の方になります。毎朝、犬の散歩をしながらごみを拾っているんですけども、武蔵野は比較的きれいで、練馬に行くにごみのポストがかなり汚く、1つごみがあると、みんなそこに捨てやすいので、収集日に関係なくどんどんそこにたまっていきます。



武蔵野市は周りがきれいだから捨てられているのがわかる、というのを日々思っています。また、武蔵野市には拾っている方も結構いると日々感じています。

私は、コンビニをやっているのですが、実はごみが有料化になったら通勤途中でコンビニに捨てていくので、ごみ箱がとんでもないことになるという話を聞き、しばらく戦々恐々としていたのですが、確かに増えたには増えたんですけど、武蔵野市民はそこまでひどくありませんでした。モラルはあるのかなと思います。

ただ残念ながら、ポイ捨ての問題で、特に吉祥寺周辺や週末の夜になるとやはり市外の方がかなりいらっしゃるので、禁煙エリアでも知らずに吸っているのか、知っていて吸っているのか微妙ですけど、たばこを吸う方が多くおり、週末はポイ捨てが多いと思います。それに対してたばこはマナーポイントでと回っている市の方がいらっしゃいます。あの方が昼間回っているのはよく見ますが、夜に回っているのは見ないので、どちらかというとなりに回ってもらったほうがいいのかなと思います。

3. 子どもの体力増進について

【ご意見】

関前に住んでいる。子どもは高3と高1で、大野田小、四中に通っていた。長男が中学校に入

るときに会社の異動の関係で、北町にある武蔵野市の社宅に入居した。武蔵野市に5年住んで大変気に入って、昨年市内にマンションを買い、ここで1年間固定資産税を納めている。以前は、名古屋市に住んでいた。その経験から武蔵野市でもぜひ取り入れていただきたいことを子どもの体力の増進に絞って2つお話ししたい。名古屋市は小学校のスポーツ大会を開催しており、その大会に向けて各小学校で放課後のクラブ活動が盛んだ。小学校の先生が子どもたちを指導して、夏場は水泳、秋は陸上大会、冬はバスケ、サッカー、陸上、野球といった競技を何種目か季節ごとに学校のクラブの中で経験できる。武蔵野市に引っ越してきて、何で小学校にスポーツのクラブがないのだろうというのが最初の疑問だった。

武蔵野市はクラブチームが盛んなので、その1つの競技を続けていくには非常にいいところかと思うが、それだと1つの競技に偏ってしまう。いろいろな種目を経験させることが子どもの運動の発達においては必要なことではないか。そして、決勝は必ず大きいところ、体育館、陸上競技場で開催するのがいいかと思う。名古屋市も必ず最高のところでやるので、今後の励みになるという感じだ。

もう1つ、名古屋市でやっていて良かったことは、冬場が中心になるが、市が縄跳びを奨励しており、やり方は小学校によって様々だが、息子の小学校は縄跳びカードというものがあり、学年ごとに飛び方や回数でランクづけされていて、クリアすると認定印がもらえる。もちろん体育でもその縄跳びを授業に取り入れて、かなり盛り上がっていたと記憶している。大野田に来たときにも縄跳びは確かにやっていたが、二重跳びができる子はほとんどいなかったような状況だ。

名古屋のときには、二重跳びができる子がかかなり多くおり、最高ランクは、二重跳びプラスあや跳びという「はやぶさ」という技が、最高ランクだったような記憶をしている。

このランクを武蔵野市内で例えば統一して、各小学校の最高ランクの到達者の数で競うというのもおもしろいと思う。市で個人戦を開催したり、オーナーの団体戦なども企画したらおもしろいのではないかな。なでしこジャパンの岩渕さんに続く、武蔵野市の小学校出身のオリンピック選手をぜひ出したいと思っている。

【市長】

子どもたちの様々な体力面は気になるところです。学習面では武蔵野市内の小中学生は結構優秀で、都内でも常に上位なんですけど、体力面は都内での平均をちょっと下回るぐらいなので、もっと体力面でのいろいろな取り組み必要だなと思います。

ただ、おっしゃるとおり例えば個別のサッカーや野球は、私も野球のコーチをやっていましたが、結構盛んにやっているし、それこそサッカーなんかですと、競技場の芝生のピッチで試合ができたとかもあるんで、そういうところに入っている子は体力的にはすごくプラスになっているんだけど、そうでない子との差が結構出てきているような気がします。だからもう少し、学校単位での何かそういう取り組みというのは必要かもしれません。

4. 自由に使えるスポーツ施設、陸上競技場の設備について

【司会】

私は、草野球をやっているんで、日曜日の朝に結構、中央公園に行きますが、中央公園のグラウンドは9時から予約制になっています。9時前は結構自由に使えるので、小学校の野球チー

ムが5、6チーム来ています。

聞いたところによると、ある野球チームは、その場所取りのためにお父さんが4時ぐらいから来ているということです。たまに成蹊大学の学生が交っていて、その子たちは夜通し寝て待っているみたいです。学校の一般開放もありますが、そこが開くまで、野球ができる環境がありません。学校の周りも結構騒音の問題とかで何時まではやるなとい



武蔵野陸上競技場

うことがあります。その指導者たちも苦肉の策というか、中央公園なら、ということをやっているのですが、市民がもうちょっと自由に使えるスポーツ環境があるといいと思います。陸上競技場もすばらしいのがありますが、残念ながら100分の1が測れる時計が武蔵野市には無いので、中学生以上の試合では、それが測れないと公式記録として認められません。市内の大会では、幅跳びや砲丸は公式記録になりますが、走るものに関しては、記録として認められないので、残念ながら別の会場でやらないといけません。

武蔵野市は場所的にも都の中心だし、あれだけのグラウンドがあるのに、設備が無いのは残念だなんて日々思っています。

5. 土曜学校、子どもが遊べる複合施設、お祭りについて

【ご意見】

緑町に住んでいる。市の魅力というか、非常にありがたいと思っているところを最初にお伝えしたい。

小学校5年、6年の子どもがおり、土曜学校を非常に活用している。意外と皆さん使われていないので、ぜひ利用していただいたほうがいいと思う。また、新たな取り組みも増やしていただきたい。

一方で、同じようなイベントで子どもを遊びに連れていくときに、近隣の例でこういうのがあったらという話を、2、3例を挙げさせてもらおう。

例えば、青山の「こどもの城」など、いろいろ工作して遊べたり、屋内で安心して遊具で遊べたり、トランプなどのゲームができたりするので、そういう施設を利用する。あと、多摩六都科学館にも行く。そういった複合施設みたいなものが市内にあると、非常にいいと思う。

あとは近隣で言うと、MIAでもお祭りをするが、三鷹市のほうで、井の頭公園で国際交流祭りみたいなものも非常に大々的にやられている。MIAでやっているお祭りももうちょっと大々的にやってもいいのかと思う。市内でもっといろいろ利用できる文化系のイベントもあっていいと思うので、近隣の市町村のイベントなども参考に今後、新たな取り組みを増やしていただきたい。

6. 市内企業との協力、広報について

【ご意見】

八幡町に住んでいる。二子玉川には、民間がやっている新しい電子部品をレゴみたいに使ったワークショップがあるが、子どもには新しいものにどんどん触れさせたいと思う。市内で子ども

向けの文化イベントが開かれていないのではないかと思いますので、もっと開催してほしい。

最近だと、企業も子どもを集めてイベントを行っているので、せっかく横河やNTTの研究室があるので、もっと活用されればいいのにとと思う。一応、市報は見ているつもりだが、市報以外の情報取得については、市報以外で何か見ていると言われると見てないので、このタウンミーティングも、知人に誘われなかったら来ていない。私の情報摂取が足りないのかもしれないが、もう少しインプットがあれば行くだろうし、市が全てやれという話ではないと思うが、もっと情報が欲しい。

武蔵野市の魅力は、新しいものがどんどん出てくるというところだと思うが、保守的になって、普通のまちになると、今は人口が増えているが、二子玉川、渋谷、立川に負けるのではないかと思います。

【ご意見】

千川おやじの会で活動しているが、今まで飲んでばかりで、子育てイベントについての情報共有をしてこなかったのが、今後おやじの会でぜひ情報の共有を図っていきたい。



7. 市民活動支援、児童館、子ども向けの文化イベントについて

【ご意見】

緑町に住んでいる。イベントについて、市報とかそういうものだけではなくて、実際にはコミュニティのロコミが一番大きいと思う。一生懸命市報やチラシでPRしても、やはりコミュニティには勝てない。今日も市報だけではこんなに集まらないのではないかと。コミュニティがちゃんとしていて、あと飲んでばかりいないで、情報を交換するということが大事だと思う。市は、ハード的な面をそろえるだけではなくて、コミュニティをつくることを支援するような、ソフト的な支援をお願いしたい。

ハード面で1個だけ足りないと思うのが、武蔵野市には、児童館が1館しかなく、小学生ぐらいの子が雨の日に行ける場所が無いのでお願いをしたい。

【ご意見】

コミュニティができるとロコミができるが、そのコミュニティができるまでがまさしくこの後のテーマになるわけで、やっぱり難しい。となるとこういったイベントだったり、先ほどの土曜学校だったり、成蹊大学とインターネットのヤフーと一緒に新しいものをつくってしまおうというイベントをやっていたりするので、そういったところに行けば、きっとコミュニティもできるかもしれない。市報の一番最後にイベントとか載っているが、そこにもっと市でやっていないものを載せられないか。基本的に市報しか見ないので、コミュニティの情報を得るのはハードルが高い。一番見られているものにもっといろいろな情報が入るようにしてほしい。こういった出会いがあるとその中でコミュニティというのは動いていくと思うが、そのきっかけをもっと増やすための仕掛けが必要ではないかと思う。

【市長】

市報というのは月2回で、原稿の締め切りはそれより前になるものですから、あまりタイムリーな情報がなかなか伝えにくいですね。確たるものをきちんと伝えていくのが基本で、またその紙面も限られています。最近ではホームページも大分充実をしており、フェイスブックも始めました。そちらでいろいろな情報を発信していますので見てください。ツイッターもやっていますので、あわせてそういう情報手段を使って、こまめな情報提供に努めているところです。

あと、子どもたちのイベントの情報はいろいろなものがありますので、なかなかそれをペーパーで1枚でというのは難しいのですが、市の情報はなるべくまとめて提供できるような仕組みができたと思います。



それから、近くにいろいろなものもあるので、武蔵野市内に限らず、広く情報提供できるといいのかもしれない。

市教育委員会では、理科教育に力を入れており、各学校では、理科の教員の加配をしています。実験も小学校では理科専門の先生が行っています。もう1つは、サイエンスフェスタというのを年に1回行っており、横河やNTTの研究者を招いて、一日で終わってしまうのがもったいないぐらいのイベントも実施しています。ただ、それを常設にするというとなかなか難しいので、年に何回か、そういうイベントができたと思っています。ぜひ情報提供しますので、お子さんを連れて来てください。

8. 学校給食について

【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。武蔵野市の商圏人口というのはどのぐらいあるか。

【市長】

よく言われるのは、吉祥寺ですと100万人です。単純に言うと武蔵野市の人口密度もそうですけど、1平方キロに大体1万3,000~4,000人が住んでいます。そうすると半径5、6キロの円を描くと、 $5 \times 5 \times 3.14$ で、大体、78.5平方キロになり、ここに人口をかけると約100万人います。実際に来ているかどうかわかりませんが、吉祥寺駅ですと乗降客数が1日40万人、毎日ですので、相当の数の方が来られているんじゃないかと思っています。

以前はもっと市外から来ていた人が多いように思いましたが、昨年の来街者調査（個別の対面調査）では、平均で3割は市民ですね。最近では市民が多いようです。

【ご意見】

私は、子どものころから東京で育ち、戦災に遭い、東京中をうろろしていたが、例えば治安、道路の段差、駅前のマナーにしても、他と比較すれば、やはり武蔵野市が一番いいと思う。周りの人に聞いても、驚くくらい武蔵野市にこれからも住みたいという人が多い。横浜から来た甥も褒めていた。

この間、給食を学校に食べに行った。驚いたのは、男の人がほとんどいないことだ。やっぱり

そういうところからお父さんたちが参加されると、子どもたちが何を考えているか、もっとよくわかるのではないかと思います。

【市長】

武蔵野市をお褒めいただきありがとうございます。各学校では、ふれあい給食という機会がありますので、ぜひ時間をとって行っていただければと思います。自慢をしたいのは、武蔵野市は、地域の農家をお願いして、市内産野菜をどんどん入れてもらっています。今、30%ぐらいは市内産野菜なので、地産地消にすごく近づいています。農家の人は初めはそんな安い価格では入れられないと言っていたのですが、何か子どもたちの笑顔を見ていると、使命感が出るのかもしれない。学校給食が武蔵野市の農家の1つの柱になっています。生産量が少ないので、庭先で売るか、新鮮館というJAの施設で売るかぐらいしかなかったそうです。この都心部で、市内産の野菜を使った給食をやっているというのは、もっと自慢していいのではないかと思います。

【ご意見】

関前に住んでいる。ぜひ給食を食べてみたいと思うが、息子に聞くと名古屋市の方がおいしかったと言っている。ちなみに私が聞いたところによると、西東京市より武蔵野市は品数が1品多いようで、うらやましいと言っている。

【ご意見】

境南町に住んでいる。境南小の給食は日本一といううたい文句があり、常においしいと言われているので機会があれば食べていただきたい。

【ご意見】

緑町に住んでいる。給食について、小平市は外注しているようだ。そこの先生の話を知っていると、安くなった、うまくなった、子どもたちの食べ残しが無くなったという話を聞いたことがある。武蔵野市は、あまりにも人件費をかけ過ぎだという話が聞こえてきたりするので、地産地消というのももちろん大事だと思うが、コスト面や、おいしさということも考えると、外注もありかと思う。

【市長】

給食にはかなりこだわっております。一般的においしいといえば、例えばコンビニの弁当だっておいしい弁当はあります。しかし、化学調味料をいっぱい使ったりして、どこの素材だかわからない場合があるという不安もあります。武蔵野市の場合は、もちろん素材は限定していますし、完全に手づくりです。冷凍食品も使っていないため、かなり人手をかけています。その意味では人件費はかかっているかもしれませんが、子どもたちのためには最善を尽くした給食だと思っています。また給食を単に昼食として提供しているだけじゃなくて、食育という視点も加えています。今、武蔵野市の給食は、武蔵野市給食食育振興財団という別の組織で行っており、コスト面も直営よりは若干下がりました。財団の皆さんは、みんな給食をつくりたいという人が集まっていて、子どもたちのために食育を加味したい給食をつくっ



食べ物をモチーフにした給食配送車

ていると自負しておりますので、ご理解いただけたらと思います。しかし、いろいろな考え方がありますので、中学の給食は、希望者は弁当を持ってきていいというような選択制の給食をとっており、その辺はご家庭の考え方で、判断していただければいいのではないかと思います。

【ご意見】

北町に住んでいる。給食はいくつかの給食センターで作られているということか。どこが一番おいしいのか。

【市長】

給食センターは2カ所ありまして、自校方式ですと、境南、桜野、本宿、五小があります。

【ご意見】

給食センターのモチベーションをあげるため、1位の給食はこれで、皆さんに食べる機会をつくとか、そういう競争方式というのはいかがか。

【市長】

なかなか難しさがあるかもしれませんが、関連したイベントとして、夏休みを利用して毎年給食の新作メニューの発表会をし、食べてもらって皆さんに評価してもらっています。いいものを秋以降の給食に出すとか、そういう取り組みもしておりまして、常に新しいメニューを栄養士が頑張っ、考えているので、その意味ではどの調理場でもいろいろな工夫をされているのではないかと思います。いろいろな情報交換もしています。食べ比べられてもいいかもしれないですね。

【司会】

三中に調理部があるそうで、そこで考えたメニューが、年3回ぐらい給食センターのメニューとして取り入れられているらしいです。

9. 武蔵野の魅力（海外との比較の中で）、シニアの力について

【ご意見】

桜堤に住んでいる。今日のテーマ「武蔵野の魅力」だが、海外生活がずっと長く、これからは日本で暮らすということで、武蔵野市に入ってきた。先ほど、市長が言われたとおり、通過人口が少なく、市民の人たちが中心になっているまちという意味で、ある程度独立性があって、それなりに市長も一生懸命やっただけではないので、アイデンティティもあり、魅力がある。立川断層からちょっと離れていて、武蔵野市には、活断層が無いから、皆さん安心して住んでくださいというお話もあったが、安全という意味で、人口が増えてくる可能性はあると思う。

長く住んでもらうために、何をしたらいいかというのをこういうタウンミーティングなどで、議論していきたいと思う。

私は、17年間オランダに住んでいたの、国際交流のため、MIAの会員になった。直接的には、国際交流というよりも武蔵野市民の中に外国人もいるから、そういう人たちとどういふふうにつき合



おうかという会なので、国際交流をしたいと思い参加した私は、ちょっとがっかりした。先ほど言われた、地域とのつながりという意味で海外と比べると、特にオランダの場合、まず教会があり、まちに広場がある。そういうインフラが武蔵野市とは違う。それと野球場やサッカー場が町中にあり、自由に使える。子どもたちにとっては、公園ももちろんたくさんあるが、家から家族で自転車に乗って、公園へ行ったらみんなでピクニックみたいに食事也能きるし、子どもは自由に遊んでいられるというような、昔からの都市計画ができています。武蔵野市は都市計画が進んでいると思っているが、そういうことに関して、大きなビジョンを持ってきちんと自転車道路と子ども公園が結びついているとか、そういったことも大事かと思う。

それから、先ほど言われたごみに関しては、向こうではごみ箱というのがまちの広場に、多分100メートル、200メートルに1カ所ぐらいは大人が3人手をつながないと結ばれないぐらいの箱がある。そこには生ごみも捨てられるし、瓶も、色によって入口がちゃんと違って、ちゃんと入れられる。古着は古着を入れる箱があって、ボランティアの人がアフリカに送れるかどうか判断している。

また、コミセンみたいなものもあって、そこに行くとおやじたちがいろいろな無駄話をしていたり、ダンスをしたりブリッジをしたりして、地域のコミュニティがある。日本の場合も、立派なコミュニティセンターあるから、こういうのを使っていかなければいけない、それを活性化するための努力というのは大事ではないかと思っている。

【ご意見】

桜堤に住んでいる。境北小、二中、武蔵高校と、ずっと地元で、結婚してから桜堤に移ったが、武蔵野市を非常に愛し、60年来住んでおり、その間に市の発展を喜んでいる1人だ。吉祥寺を見ると、昔のハーモニカ横丁があり、デパートもあり、南に行くと飲み屋横丁もある。井の頭公園に向って、エスニックな通りもある。本日のちらしの裏面に武蔵野市の魅力を考えるキーワードとあるが、もうちょっとぼんやりとしたキーワードはないのかと感じる。

例えば武蔵野市は、緑とか自然が東京都の都会と比べても多いし、そういう緑とか自然を大事にしつつ、若い人たちにも魅力があるようなまちにしていけるといいのではないかと。

個人的には文化とか芸術とか国際化といった面にすごく力を入れていただきたいし、自分としてもそういうことに関われる場を自分たちでつくればいいのかもかもしれない。私もアメリカに長く住んでいたが、お年寄りが学校教育に関わって、子どもの通学時に路地に立っていたりする。

【市長】



シニアの方の地域への関わりについては、すごく期待しています。いろいろな経験が豊富な方がいっぱいいらっしゃいますので、今、学校ではそういう地域の人材を集めています。いろいろな地域の方にお願しようという方向になっていますので、ぜひご協力いただきたいと思います。

それと国際交流というお話がありましたが、武蔵野市は子どもたちの国際交流を盛んにしており、5つの都市と相互に交流をやっています。隔年事業なので、今年は韓国とアメリカへ行きますが、ホームステイを原則としています。通常の旅行では味わえない交流をしており

ますので、大きくなってもしまだにアメリカの子とメールをやっている人もいると聞いております。ぜひこれは続けていきたいと思っています。お子さんを行かせたことがある方もいらっしゃるかもしれませんが、毎年募集していますので、ぜひ応募するようにしてください。ただ、費用は半分ぐらい出していただき、半分は市で持ちます。

10. 駐輪場の整備について

【司 会】

今、オランダのお話で自転車が出てきましたが、私は、吉祥寺で商売をしています。お昼は自転車置き場がまず空いていないです。午前10時前は結構とめられるのですが、10時で大型店が開いたところで大体いっぱいになるという感じです。空くのを待っている時間がある人はいいのですが、それが無いとついでどこかに置いていくような方が多くて、前に比べればものすごく自転車置き場は多くなっていますが、それでも増やせば増やすほど自転車が集まるのかなという感じですが、その辺はどうでしょうか。

【市 長】

かつて吉祥寺、三鷹というのは、都内の放置自転車のワースト記録の上位だったのですが、今は、十何位までランクダウンしました。それもやはり駐輪場が確保できてきたというのがあります。通勤通学用の駐輪場はほぼ確保できていますが、その後、買い物客用の駐輪場あるいは学習塾の子どもたちの駐輪場とか、その駐輪場が不足をしています。誰が整備したらいいと思いますか。

【司 会】

これは難しいですね。商店街でも当然考えなきゃいけないと思いますが。

【市 長】

自転車で、武蔵野市民ではない人がいっぱい来るという課題があります。例えば、百貨店や大型のスーパーですと、駐輪場の附置義務があります。ただ駅は附置義務の適用除外になっていて、努力義務にとどまっていますので、全部行政側が整備しなければいけないという状況です。地域の課題として、自転車があふれるというのは市民の不便に通じますから、この間一生懸命いろいろところで駐輪場整備をしてきましたが、今度は買い物客についてどうするかについては、やはり商店の皆さん方と協力してつくらないといけないのではないかと思います。店によっては自分の駐輪場を設けてお客さんを招いているところもあるわけですから。と言っても吉祥寺で各店の前に駐輪場が出来ても道が狭くなり大変になるので、もう少し商店街ごとに駐輪場ができないかと思っています。今、武蔵野市では民間の駐輪場について支援策を作っているのです、そういう投げかけをしています。

それから、もう1つは武蔵境の南口に大きなマンションができ、そのマンションをつくるに当たって駐輪場をつくってとお願いしました。開発事業に伴う協力です。その結果、1,000台の駐輪場をつくっていただきました。その運営については自転車駐車場センターが運営をするので、武蔵野市はお金を出していません。その駐輪場を使われる方は圧倒的に三鷹市民です。しかし三鷹市民といえども、武蔵境に来られてそこでいろいろお買い物をしていただければ、地域の活性化につながっていくので、これは完全に無視できない話です。ただ市の予算を使わず、整備をする

やり方がうまくできたと思っています。

【ご意見】

例えば、アムステルダムの郊外に新しいビルを建てる、広場を整備するというときには、自治体が地下に駐輪場を設けている。市営の駐輪場が広場の地下に何千台、その隣にビルが建つということも市民も参加してやっている。市でそれを働きかけてやっていくというのが大事じゃないかと思う。駅前整備というただビルを建てておしまいになるが、それでは困るので、市がある程度コントロールしていく必要がある。

【市長】

公共インフラの提供は必要だと思います。最近、保育園の待機児も出ておりますので、民間のマンション等についても、ある一定規模以上については、例えば保育園のスペースを提供いただくとか、そういうことをもう少し積極的にやっていこうと考えています。今、300戸以上については保育園等の提供あるいは公園、駐輪場の整備など何らかのお願いをしていますが、それをもっと少し小さな規模、例えば100戸以上に求めていくとか、そういうことで地域に対しての協力を呼びかけていけたらと思います。

【ご意見】

武蔵野プレイスの前は広場ができたのはいいが、地下は有効利用していないのか。

【市長】

地下はコストがかかりますので、市の予算でやるかどうかというのは、大きな課題ですね。

【ご意見】

今、武蔵境のJRの高架下に駐輪場が増えているが。

【市長】

あちらもJRから借りてやっています。JRが無償で提供しているわけではありません。JRの高架下というのは、地元自治体が15%分利用できることになっています。ところが、その15%分はほとんど駐輪場にせざるを得ない状況です。あそこは雨が降らないし、何かいろいろな利用が、それこそスポーツ広場とか何かつくりたいじゃないですか。ところが、JRはいかに高架下を商業化しようということで、中央ラインモール株式会社というのをつくっており、武蔵境駅もそこが運営しています。あわせて高架下の商業施設も運営している。鉄道事業以外でいかに収入を得ていこうかというのがJRの考え方です。

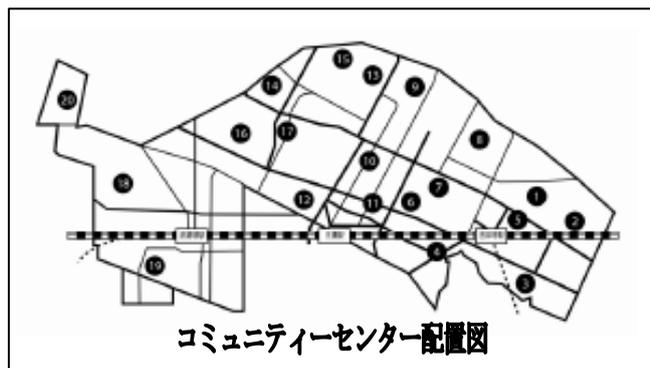
だけど、もともと鉄道は公共的な施設でありますから、我々は公共的な利用をしたいということで、今、いろいろ要望を出しています。保育園はつくってくれることになりましたが、あと、スポーツ施設とかいいじゃないですか、雨が降っても利用できますものね。そういうことを積極的にこれから言っていきたいと思っています。

11. 町内会、コミセンの役割について

【ご意見】

吉祥寺東町に住んでいる。本宿小学校は防災の研究校になっていて、昨年、東部防災会というのも立ち上がった。武蔵野市には、町会が無いというお話があったが、防災の専門家に昔、取材したときに武蔵野市は防災についての取り組みは難しい、町会が無いからですと言われたことが

あって、調べてみたら光和会という会があるが、市とつながった会ではない。そういうものしか今はない。それがある種、住みやすさ、自由さにつながっていて、武蔵野市のいいところでもあるけど、他地域にあるような町会がないので、防災とか何かやる時にはなかなか難しいそうだ。そのような市は全国的にほとんど無いということなので、どうしてそういうまちづくりにしたのかというのを、話として押さえておきたいと思っている。



【市長】

戦後、マッカーサーが日本の中央集権的な体制を打破しようということで、町会制度を廃止しています。今ある町会も法などの制度に基づくものではありません。けれども、そうはいっても戦前からコミュニティがありましたから、それを各自治体は復活されてきています。ところが、武蔵野市はその復活をしませんでした。武蔵野市はその後、住宅地として発展してきた中で、都会的な匿名性をかなり重視した方も結構入ってきているものですから、任意の町会が広がらなかったということです。

マンション単位での管理組合があって、そこで自治会にまで発展しているところもありますけれども、そういう経過もあったもので町会が広がらなかったということです。

今からそういう町会制度ができるかというとなかなか難しいでしょう。なので、それにかわる地域のつながり、いろいろなテーマでのつながりが武蔵野市的なコミュニティになっていくのではないかと考えております。おやじの会も地域のコミュニティの1つだと思っています。でも、それが全てではなく、いろいろなテーマに合わせた、例えば防災で関心がある方、地域の防災を自分たちでやろうという方が集まってコミュニティをつくっていくのもあっていいのではないかと思いますし、あるコミュニティは例えばお年寄りのいろいろな見守りが必要だということが、そういう共通の思いを持って集まるコミュニティでもいいと思います。そういういろいろなテーマ性のコミュニティが積み重なって1つの地域をつくり上げていくというのが、結論ではありませんが、それが武蔵野的ではないかと思っています。

【ご意見】

武蔵野的というと、町会の代わりにコミセンをつくったという経過があると聞いたが、コミセンは町会の代わりになるのか。

【市長】

町会の代わりになりません。コミセンは広く薄くなので、範囲も広いです。市内に16しかないので、1つのコミセンあたり8,000人～9,000人がその対象地域に住まわれています。それを1つのコミュニティとしてつなげるといってもなかなか難しいので、コミセンはコミセンでいろいろなコミュニティ活動の場であっていいのではないかと思います。それから、それらのいろいろなコミュニティをつなぎ合わせるのが実はコミセンの役割かもしれません。

【ご意見】

小学校の役割もかなり大きいと思っている。子どもの頃は学校1つずつではなく、まち全体で大会があった。しかし武蔵野市はない。子どもをくっつけることが一番親もくっついてきていいと思う。

12. 災害時の中学生との協力について

【司会】

この前、防災会の会議に出たが、メンバーは年配の方が中心です。その方々が頭において、僕ら世代がうまく引き継げればと思います。先ほど市長が話したように、武蔵野市は昼間の人口が非常に多い。昼間、僕ら世代は市外に出ている方も結構多く、いざ、何か事が起きた時に一時避難場所としての学校をどう運営するのかというのがテーマになっていると思う。その時にやはり人手が足りない、地域と関わりが無いというのがあって、その時に出ていたのは、中学生は昼間ならいるので、健康だし、体格もいいし、協力してもらえようなつながりがあればと思うので、防災会与中学校とリンクして例えば避難訓練をするとか、炊き出しをやってみるとか、そういうことができないかという話にはなった。また、武蔵野市は今、新しい公園に防災施設として簡易トイレやかまどになるベンチを設置している。すごくいいと思いますが、それを気づいている方がどのぐらいいるのか。以前、どこかの公園で防災トイレを設置する際、防災課では外さなくてはいけない部分が外せなかったと聞きました。何でわからないかという、それをつくったのは公園をつくる部署だったため、そっちでないといけないとか、市役所の中での横のつながりをこれから図るところですという回答がありました。日頃からの意識が必要だと感じました。



防災機能の高い吉祥寺西公園

【市長】

私どもが注目しているのは、昼間の力として中学生の力は極めて期待できるのではないかと思います。実際に二中でもそういう防災訓練の試行を始めていますので、全中学校に広げられたらと思います。それから、各公園には原則、改修工事の時にはいろいろな防災施設を組み込んでいこうということから、トイレなどを設置しているのですが、いざという時に組み立てたり使用するには地域の方をお願いしないといけないのですが、まだ全市的に防災組織はできていません。ゆくゆくはそれぞれの地域で防災組織を明確化して、その皆さん方にぜひ設置を訓練して学んでいただけたらと思っています。まさにそういう地域の力を期待したいところですね。

13. 地域活動への参加を促す仕組みについて

【ご意見】

緑町に住んでいる。どうしても会社で働いていると、家には寝に帰るだけの状態だ。そういうメンバーがその地域のコミュニティに全然参加していないが、そこをどうやって引っ張ってこれるのかという課題があり、もやもやしている。しかし、そういう方が市の中でマジョリティだと

思うので、その人たちの声が届かないというのはどういうことなんだろうとされていて、そういう人たちがいかに参画しやすくするかというのも考えていただけたらと思う。

【市長】

平日はお仕事で忙しいと思いますが、土日にお休みが取れる場合は、そういう時に何らかの形でお子さんを介して地域のいろいろな活動に関わっていただくとか、そういうことは大いに可能性としてあるのではないかと考えていますので、みんなが同じように地域活動に参加というのは難しいと思いますが、その人ができるやり方で楽しみながら関わられるようなことを考えていくべきでしょう。

【ご意見】

土日に地域とつながるようなイベントもたくさんあるので、そこにいかにそういう人たちを引っ張ってくるかというのもおもしろいと思う。

【ご意見】

桜堤に住んでいる。その地域の人たちになるべく簡単にイベントでちょっとしたボランティアができるような雰囲気が必要だと思う。コミセンに行っても、運動なり文化活動をやって、それで帰ってしまう人が大部分だと思う。そういう人たちに今、こういうイベントを考えているけど手伝ってくれないかとか、そういう小さい取っかかりみたいなことがあると誘い水になって、輪が広がっていく1つのきっかけになるのではないかとと思う。そういう呼びかけが大事だ。

【市長】

今、地域活動をやっている方はいろいろな誘いを出して、今度飲もうよとか言いながらいろいろなまちのお手伝いをしてもらっているでしょう。誘い方にもよるかもしれませんが。まだまだ誘い水というか誘い酒が足りていないのかもしれませんが。まだまだ引っ張っていくべきだと思います。

【司会】

初めに何かに参加する時は敷居が高いところがあります。ただ、知っている人に一緒に行ってみようよと言われると結構行けるかなと思います。そこでまた知り合いができればいいのかなと思うし、こういう会に出てきて、いわゆる地域のお祭りだとかサイエンスフェスタなど、魅力的なイベントはいっぱいあるのですが、それを情報としてキャッチできていない自分がいるなと思います。特に寝に帰って来る方がどれだけ地域に絡めるのかというところで、うまくその地域の一員としての立ち位置をつくれればいいのかと思います。



14. 市民活動支援について

【ご意見】

八幡町に住んでいる。コミュニティをつくるのが大事で、それはいろいろな層があって、おやじであったり趣味であったりで集まっていくというのは賛成だ。何かイベントをしようという時に、例えばチラシやメールなどのコミュニティを維持するためにやらなきゃいけないことも、結構自分たちでやっている。ちらしの配布などの細々としたことをサポートするというのも、市の

役割ではないか。何かやろうとしている人を助けるというふうにつけて、もっとやれることはあるのではないかと思う。僕もお手伝いできていないところ、皆さんがやっていたらいいのを見たいので、そんなふうにする。

【市長】

全市的にPRするのであれば、市のいろいろなツールを使うことができますが、例えば地域のイベントについて市がPRするのは難しいと思います。

【ご意見】

例えばコミュニティの中の連絡手段を考えた時に、メールでもちらしでも、たまたま得意な方がいらっしゃる時はそうやってできると思うが、そうじゃなくて、何かやりたくて集まったとしても、そこまで時間がかけれないという人も多いので、コミュニティが失速していくことが多いと思う。

例えばここに来れば、コミュニティが簡単に立ち上げられますよとか、日々の連絡はこうやってください、何かイベントをする時、地域の人も巻き込みたいのだったら、ここに言っていただければ、例えば広報をこの地域で手伝いますよというお手伝いをする仕組みが必要なのかなと思う。

【市長】

市民活動支援の仕組みですね。例えば武蔵野プレイスの中に、市民活動支援のコーナーがあり、印刷したりとかそういう支援をするコーナーもありますし、あるいはそのスタッフにどういう組織にしたらいいとか、そういうことも相談可能だと思います。そういう何か組織を使って、活動の支援をしてもらうようなことも確かに大切かもしれません。ただ、市の手なんてかりるのは面倒くさいという方もいます。



武蔵野プレイス ワークラウンジ

【司会】

地域での活動として、千川おやじの会で、苦労していること、やってよかったということがあれば教えてください。

【ご意見】

やってよかったことは、いろいろなスキルを持ったお父さんが集まっているので、始めてみると、こういうことができるのだなというのは驚く。この学校でこのお父さんと会わなかったら、絶対会わなかったらと思う人たちといっぱい会える。それを通して、お父さんたちがその地域に目覚めていくのが、この3、4年を通して見えてきているので、やっぱりこつこつやらないと多分なかなかうまくいかないと思う。大きなことはできないが、その中で楽しみながら、何かをやっていく。これをつぶさないように、みんなで努力していくということかなと思う。

【ご意見】

何かちょっと役割があったりすると入りやすいと思う。私も、ここまで来るのに最初、四中の委員をやった。誰も手を挙げないので無理矢理やった。そこから始まって、すごく仲の良い方たちと知り合いになって、さっききっかけをとおっしやったが、きっかけがあちらこちらに散らば

っていて、1つつかんで、仲の良い方たちと一緒にあって、何か始めると、もうきっかけも何も要らない。何か箱ものも要らないし、人間の関わりだけで気持ちが豊かになる。

【司会】

何か顔を出してみないとわからないことっていっぱいありますね。やっているのは端から見て、こんなのやっているんだなで終わってしまうとそこまでですが、いざ行ってみると、ああ、こないない会なんだなというのも多々あるかなと思います。

【ご意見】

そういうイベントを平日の夜とか土日をお願いしたい。

【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。子どもたちがコミセンへ集まって人形劇をやっていた。ボランティアの方には頭が下がるほど、献身的だ。よくあそこまでしてもらえると、本当に感謝している。できれば、市長にそういうところを見ていただきたい。

15. 学校解放について

【ご意見】

吉祥寺東町に住んでいる。皆さん野球チームをやっているが、野球チームが入っていると校庭で遊べない。あんなにすき間が空いているのに校庭で遊んではいけないという土日をどうにかしてほしい。

【市長】

施設開放ですね、時間で区切っていませんか。

【ご意見】

詳しくはわかっていないが、もちろん野球をやる時間とか区切っているとは思いますが、うちの子は、女の子だが、3年生なので走ったりするのが楽しい。でも、東町の近所にはそんなに大きい公園がない。走って楽しむような、校庭に勝る広さのものほどこにもないわけで、サッカーをやったり、野球をやったりも大切だが、もっと自由に遊ぶ時間が欲しい。僕たちが子どものころは、週末は子どもたちが勝手に校庭で遊んでいた。自由度が無いのは寂しい。

【市長】

それは工夫しないとイケませんね。それと残念なことに、その校庭開放の利用者が激減しているのです。なので、子どもたちにはもっと土日遊びに来て欲しいですね。学校ほど広いスペースはないですから。

【ご意見】

道でも何でも、危ないから遊ぶなと親が言う中、落書きなどをして遊んでいた。最近はその風景もないし、ちょっと寂しい。自由な時間をつくることで、自然に公園で犬を連れた人が友達になるように、何かがつながって始まっていくかもしれない。もっとソフト第一で考えていただけたら嬉しい。

(3) 閉会のあいさつ

【司会】



本日、ご意見を伺って皆さんは武蔵野市が好きだなと感じました。その中でより良くしたいとか、良くなって欲しいという思いがあると思います。

人気のあるまちですし、中央線が真ん中を通っていますから、近隣の市の方が通勤に利用されるなど、人も自転車も集まります。それにより良い面、悪い面の両方があるのかと思いますけど、その辺をうまく利用して、地域のつながりをどうつくっていくのかという課題があります。この会に参加して、いろいろな方がどう思っているかというのが皆さんの中でも分かったかなと思いますし、我々の世代がどれだけつながれるかという課題もございます。

例えばPTAに関わってみると全然知らない方といろいろ知り合え、入ってみたら実は結構楽しいというか、ためになることがあると思いますが、地域のつながりを深めるための、何かのきっかけづくりとして、いろいろな機会があればいいと思います。本日は、貴重な意見が聞けてよかったかなと思います。ありがとうございます。

【市長】

ありがとうございました。まさにこういう会もそうですが、人と知り合うと次につながってきますね。今度会った時に、私のことは市長だと分かるし、参加していただいた方というのが分かるので、次の話ができると思います。これがコミュニティですね。こういうつながりを広げていくことが大切だと思っています。

今日、参加いただいた方は、おそらくコミュニティの重要性について意識をお持ちの方なので、皆様がいろいろ率先してコミュニティのつながりを広げていただきたいと思います。おやじの会も結構です。おふくろの会、お嬢さんの会など、いろいろな会をつくっていくことがコミュニティを強くしていく、地域の力を増していくことに違いないと思います。いろいろな建物を造ったり、そういうことだけではなく、人と人とのつながりがこの地域の力を増していくのだというふうに思いますので、ぜひ皆様もいろいろな機会で地域にお力をいただきたいと思います。とりわけ子どもつながりでいろいろな縁が広がれば、と思いますので、引き続きよろしくをお願いします。



2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針

(※アンケートでいただいたご意見も含みます。また、当日いただいた同じ趣旨のご意見については、一部割愛しています。)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	ムーバス	ムーバスの車両が変更され乗車人数が減ったので元にもどしてほしい。吉祥寺北西循環のラストの時間を他くらしもっと遅くしてほしい。	<p>経年劣化に伴う老朽車両の買換え時に、バリアフリーに対応した低床式のバス車両を導入しており、現在全18台中13台が低床式車両となっています。バス利用者の乗降車円滑化を図るため、可能な限りノンステップエリアを確保する構造としたことから、客室内の幅・長さ・高さが若干変化し、乗車可能人数が減ってしまったものです。</p> <p>バリアフリーの観点から、ムーバスを含めたすべてのバス事業者が車両の低床化を推進している状況をご理解いただければと思います。</p> <p>吉祥寺北西循環は、平成10年の運行開始より15年が経過し、ルート沿線の生活環境等も変化していますので、現在、沿線の方からいただいたご意見ご要望を精査し、当該路線の運行実態等を検証しております。ムーバスは、路線バスの通らない住宅街などの狭い生活道路を運行することから、沿道の方々のご理解とご協力なくしては実現できない事業です。利用者の皆様のご意見も伺いながら、地域公共交通活性化協議会と連携して慎重に検討していきたいと考えています。</p>
2	自転車	前に比べればものすごく自転車置き場は多くなっていますが、それでもまだまだ増やせば増やすほど自転車が集まるのかなという感じですが、その辺はどうでしょうか。	<p>本市は、地形が平坦であり、自転車利用者の多いまちです。一方、鉄道、バス交通が充実しており、公共交通の利便性が比較的高い都市でもあるため、自転車のみに過度に依存することなく、地域公共交通全体の中でのバランスや適正な役割分担を図っていく必要があると考えています。</p>
3	インフラ整備	(たとえば外国では、)広場を整備するというときには、自治体が地下に駐輪場を設けている。市営の駐輪場が広場の地下に何千台、その隣にビルが建つということを市民も参加してやっている。市でそれを働きかけてやっていくというのが大事じゃないかと思う。駅前整備というただビルを建てておしまいになるが、それでは困るので、市がある程度コントロールしていく必要がある。	<p>公共インフラの整備については、効率性はもちろんのこと、環境や防災等の多面的な側面を考慮するとともに、周辺の関連機関や事業と連携を持ちながらすすめています。特に、ある程度大きな民間開発事業につきまちは、まちづくり条例に基づき協議を進め、緑や公開空地の確保だけでなく、公共駐輪場や保育園などの公益的施設の整備についても協議しています。</p> <p>駐輪場については、歩行者などとの交通輻輳を回避するために、駅周辺から一定距離を離れた位置に、駐輪場を配置するよう努めており、民間開発事業者と協議のもと、武蔵野タワーズ(三鷹駅北口)(公共駐輪場1500台新設、平成22年4月開設)、シティテラス武蔵境(武蔵境駅南口)(公共駐輪場985台新設、平成25年7月開設)などの整備を行ってまいりました。</p> <p>駅周辺の地下利用は、整備費用や維持管理費の面で高額となります。また、機械式地下駐輪場は収容できる自転車の形にも制約が発生することなどから、現時点では考えておりません。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
4	地域のつながり	<p>ある種、住みやすさ、自由さにつながっていて、武蔵野市のいいところでもあるけど、他地域にあるような町会がないので、防災とか何かやる時にはなかなか難しいそうだ。</p> <p>武蔵野的という、町会のかわりにコミセンをつくったという経過があると聞いたが、コミセンは町会のかわりになるのか。</p>	<p>昭和46年にコミュニティ構想を策定し、市がコミュニティセンターを配置し、市民の皆様がコミュニティづくりをすすめていくことを示しました。現在は、19のコミュニティセンター、16のコミュニティ協議会がコミュニティづくりに取り組んでいます。</p> <p>過去の経緯から、町内会を全市的に組織することや、対象範囲が広いコミュニティ協議会が町内会の代わりになることは難しいと思います。</p> <p>防災や福祉など様々な目的別のコミュニティが積み重なって1つの地域をつくり上げていくのが、武蔵野市らしいコミュニティと考えており、平成25年9月に「これからの地域コミュニティ検討委員会」を設置し、地域コミュニティやコミュニティセンターのことを検討していきます。</p> <p>防災に関する啓発活動などは地域に対して個別に働きかけを行っており、現在、市には自主防災組織が42団体あり、うち避難所運営組織が10団体あります。これらの団体の拡充により地域防災力の向上を図りたいと考えております。</p> <p>地域の福祉活動については、小学校区を基本とした13地区で地域福祉活動推進協議会（地域社協・福祉の会）があります。この活動の中では、高齢者や乳児向けのイベントなど行っています。また、災害時要援護者対策事業も実施主体として活動しており、事業を通じて防災組織の立上げやマンション組合の活性化などにつながっています。地域の見守りネットワークなどの活動も行っています。</p>
5	防災	<p>武蔵野市は今、新しい公園に防災施設として簡易トイレやかまどになるベンチを設置している。すごくいいと思いますが、それを気づいている方がどのぐらいいるのか。</p>	<p>市HPなどの広報媒体を通じて周知を図りたいと考えております。</p>
6	防災	<p>中学生は屋間ならいるので、健康だし、体格もいいし、協力してもらえようなつながりがあればと思うので、防災会と中学校とリンクして例えば避難訓練をすとか、炊き出しをやってみるとか、そういうことができないかという話にはなった。</p>	<p>昨年12月に第三中学校で避難所運営組織を中心に中学生と合同で訓練を実施しました。また、第一中学校においても同様の訓練の実施を検討しており、第五・第六中学校に地域の方が参加するなど、学校と地域の合同訓練は次第に浸透しつつあります。</p> <p>今後とも学校と地域の連携は図っていきたいと考えております。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
7	子育て	<p>文化やスポーツ行事に参加する子どもたちの親や親の友人以外の方が、子育てに参加出来るよう土台づくりをしてほしい。未婚で親にならない立場でも子育てには関心がありますし、子育て経験が無い立場でも現状(現実的に)保育に関わりたいです。</p>	<p>「0123施設」では、ひろば事業やつどい事業、地域交流事業の「0123まつり」等において、地域の方やボランティアの方にご協力いただきながら施設を運営しています。また、地域の中で子育て支援に積極的に関わってくださる方に向けて、講座や講習会等を実施し、「コミセン親子ひろば」等の市の事業で子育てひろばボランティアとしてご活躍いただいています。</p>
8	給食	<p>給食について、小平市は外注しているようだ。安くなった、うまくなった、子どもたちの食べ残しがなくなったという話を聞いたことがある。武蔵野市は、あまりにも人件費をかけ過ぎだという話が聞こえてきたりするの、地産地消というのももちろん大事だと思うが、コスト面や、おいしさとかということも考えると、外注というのもありかと思う。</p>	<p>武蔵野市では、成長期の子どもたちに安全な食を提供するという観点から、食材を厳選し、化学調味料を使わずに素材から手作りの給食を提供しています。旬の食材や家庭では調理されにくい食品、咀嚼力をつける食品や献立、季節感を取り入れた行事食を取り入れ、栄養士による栄養指導や調理員のクラス訪問を通じて、子どもたちへの食育にも力を入れています。</p> <p>平成22年3月に一般財団法人武蔵野市給食・食育振興財団を設立し、平成23年4月から給食調理を全面的に委託しました。</p> <p>今後ともより良い給食の提供とコストの削減に努めてまいります。</p>
9	給食	<p>給食を試食する機会を増やすためにも土曜の学校公開では全小中学校と同じ日にして、父子給食はどうか？</p> <p>給食センターのモチベーションをあげるため、1位の給食はこれで、皆さんに食べる機会をつくるとか、そういう競争方式というのはいかがか。</p>	<p>各小中学校の行事予定の関係もありますが、今後研究してまいります。</p> <p>これまでに新作メニューの発表会を行い、児童・生徒に献立の名前を覚えてもらうイベントを実施しました。</p> <p>給食の試食会も随時実施しておりますので、保護者の皆様のご意見を伺いながら、おいしい給食の提供に努めてまいります。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
10		<p>児童館が1館しかなく、小学生ぐらいの子が雨の日に行ける場所が無いのでお願いをしたい。</p>	<p>市内には、児童館以外にも小学生が放課後利用できる施設があります。</p> <p>【コミュニティセンター】 コミセンによって施設や利用方法は異なりますが、小学生が利用できるスペースがありますので、お近くのコミセンをぜひご利用ください。</p> <p>【あそべえ】 全ての小学校内に地域子ども館あそべえを設置しています。利用対象は当該小学校の在籍児童、その学区等に住民小学生です。あそべえは自由来所型で教室開放、校庭開放(雨天時は体育館の利用が可能な場合あり)、図書室開放を行っています。教室開放の利用時間は学校授業期間中は午後1時から午後5時まで、学校休業期間中は午前9時から午後5時まで、土曜日は午前9時から午後5時までとなっております。</p> <p>【武蔵野プレイス】 地下2階に、中高生世代を中心とする、20歳未満の青少年の「居場所」として、様々な交流や活動、情報交換を支援し、青少年の社会生活の充実を図ることを目的としたフロアです。青少年の利用を想定したサウンドスタジオ、パフォーマンススタジオ、クラフトスタジオ等の施設があるほか、フロアにはスタッフが常駐し、青少年の多様な活動を支援しています。雨の日でも利用可能です。ボルダリング(*ロープやハーネスを使わないクライミング)設備の他、卓球台やボードゲーム等の貸し出しもしています。</p>
11	文化・芸術	<p>「文化・芸術」について日を改めてミーティングをして頂きたい。現在、音楽(弦楽器)のアンサンブルをしているが、市内に練習場がなく、小金井市や三鷹市の文化センターの練習部屋(防音効果の整備された部屋)を苦勞して使わせてもらっている(市民ではないのとれないことも多い)。武蔵野市は本来文化・芸術にもっと力を注いでもいいはず。そのような将来プランについて話し合いたい。</p>	<p>タウンミーティングは、様々なテーマを設け意見交換を行っております。今後のテーマにつきましては、いただきましたご提案も含め検討していきます。</p> <p>音楽の練習施設については、市民文化会館の練習室、吉祥寺美術館の音楽室、武蔵野プレイスのサウンドスタジオ、市民会館の音楽室がご利用いただけます。それぞれの施設に利用条件がございますので、詳細はお問い合わせください。</p> <p>文化・芸術の振興については、武蔵野市民芸術文化協会及び武蔵野市民交響楽団への支援を通じて、市民が気軽に文化・芸術に触れられる機会を創出しています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
12	子育て	<p>今、お母さんたちもお父さんたちも月曜日から金曜日の日中だけの仕事ではなく、土日も仕事があったり、夜も朝も泊まりだという仕事をしている人も昔よりも増えている。そうすると子どもを預かる環境として学童クラブや保育園の充実という部分など、もっと子育てしやすくなる、そういう環境になってくれるといいと思う。</p>	<p>現在、学童クラブは土曜日も、保護者の就労等を条件に利用登録を行い、開所しております。施設状況、人員体制、児童の育成環境も踏まえ、可能な限り受け入れを行っております。また、学童クラブや地域子ども館あそべえ等の機能充実等については、小学生の放課後施策推進協議会で検討が行われています。</p> <p>こどもテンミリオンハウスあおばでは、通院や仕事等で一時的に児童の保育ができない時や、子育てから離れてリフレッシュしたい時などに児童をお預かりする一時保育を、土・日曜日や夜間、宿泊、送迎も含めて実施しています。</p> <p>また、平成26年7月には、旧私立幼稚園泉幼稚園跡地を活用し、グループ保育事業や宿泊を含む一時預かり事業などを行う子育て支援施設を開設する予定です。</p> <p>このほか、市内には訪問保育や小グループ・集団保育などを行っているNPO法人もあり、様々な保育・子育て支援サービスが提供されています。</p>
13	スポーツ	<p>武蔵野市はクラブチームが盛んなので、その1つの競技を続けていくには非常にいいところかと思うが、それだと1つの競技に偏ってしまう。いろいろな種目を経験させることが子どもの運動の発達においては必要なことではないか。</p>	<p>学校教育の中では、体育の授業等において、様々な運動種目を扱っております。</p> <p>その他、市内では、土曜学校スポーツ教室・事業団の各種ジュニア教室・スポーツ推進委員の地域活動等によりさまざまなスポーツを体験できます。また、市民スポーツデーやファミリースポーツデー、スポーツ推進委員の地域活動では、ニュースポーツ等を体験することもできます。</p> <p>市の施設でも、無料でスケートボードが楽しめるストリートスポーツ広場がございますが、今後も特色ある施設の充実を図っています。</p>
14	スポーツ	<p>陸上競技場もすばらしいのですが、残念ながら100分の1が測れる時計が武蔵野には無いので、中学生以上の試合では、それが測れないと公式記録として認められないので、あれだけのグラウンドがあるのに、設備がないのは残念だと思って日々思っています。</p>	<p>武蔵野市の陸上競技場は日本陸上競技連盟の第3種の認定を受けています。維持するためには定期的な改修工事や備品の購入・点検、芝のメンテナンス等に毎年かなりの予算をかけている状況です。100分の1秒計(写真判定装置)は、1台2000万円ほどする高額な計器で、第3種認定のために必要な備品ではないため現在購入は予定していません。</p> <p>武蔵野陸上競技場は、個人利用料100円、中学生以下の利用料金は無料である等、本格的な施設を多くの方に気軽に利用していただく市民施設を目指しております。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
15	文化イベント	市内でもっといろいろな利用できる文化系のイベントもあっていいと思うので、近隣の市町村のイベントなども参考に今後、新たな取り組みを増やしていただきたい。 最近だと、企業も子どもを集めて、イベントを行っているので、せっかく横河やNTTの研究室があるので、もっと行けばいいのと思う。	市教育委員会では、「小中学生の講座まるごとナビ」を毎年4月に発行し、市立小中学校で全員配布しているほか、市報や市ホームページ等で周知しています。 平成25年度は、武蔵野市の歴史・文化・自然に触れることを目的とした「むさしの発見隊」事業を実施しました。また、NTT情報ネットワーク総合研究所による「夏休み 体験型子ども科学教室2013」や、横河電機による「YOKOGAWA理科教室」を後援し、広報について支援するなどしています。
16	学校開放	サッカーをやったり、野球をやったりも大切だが、もっと自由に遊ぶ時間が欲しい。僕たちが子どもころは、週末は子どもたちが勝手に遊んでいた校庭だった。自由度が無いのは寂しい。	現在、学童クラブは土曜日も、保護者の就労等を条件に利用登録を行い、開所しております。施設状況、人員体制、児童の育成環境も踏まえ、可能な限り受け入れを行っております。また、学童クラブや地域子ども館あそべえ等の機能充実等については、小学生の放課後施策推進協議会で検討が行われています。市民スポーツデーを第3日曜日の午後に市立小学校の校庭及び体育館で実施し、自由にスポーツを楽しめる場を提供しています。
17	国際交流	MIAでやっているお祭りももうちょっと大々的にやってもいいのかと思う。	MIAでは毎年11月に「むさしの国際交流まつり」を事務所のあるスイングビルで実施しています。ボランティアの方70名程度にもお手伝いいただき、少ない経費での運営ですが昨年は約3,500名の市民の方にご来場いただきました。 また、武蔵境地区で行われるイベントのほとんどに外国人会員によるボランティア協力や国際色豊かな出店をしています。
18	商圈人口	武蔵野市の商圈人口というのはどのくらいあるか。	商圈の考え方は様々であり、例えば、商圈内に住む人口とする場合や、商圈を実勢に合わせて設定する場合などがあります。 市で平成19年度に作成した吉祥寺グランドデザインの中では商圈人口を、商圈を半径5kmと設定し、圏内の居住人口を合算しています。
19	マナー推進員	(マナー推進員が)昼間回っているのはよく見ますが、夜に回っているのは見ないので、どちらかというと夜に回ってもらったほうがいいのかと思います。	市では、吉祥寺駅、三鷹駅北口、武蔵境駅の3駅周辺を路上禁煙地域に指定し、マナー推進員が路上喫煙しないように年間100日程度(1日の指導時間は6時間30分)の指導しています。原則的に昼間での活動で行っており、夜の活動については、コスト面やブルーキャップとの関係等総合的な判断から今のところ考えておりません。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
20	都市計画	<p>子どもたちにとっては、公園ももちろんたくさんあるが、家から家族で自転車に乗って、公園へ行ったらみんなでピクニックみたいに食事もできるし、子どもは自由に遊んでいられるというような、昔からの都市計画ができています。武蔵野市は都市計画が進んでいると思っているが、そういうことに関して、大きなビジョンを持ってきちんと自転車道路と子ども公園が結びついているとか、そういったことも大事かと思う。</p>	<p>本市には、井の頭公園などの近隣区市の皆様も集まる大規模な公園から地域の身近な公園、玉川上水の水辺といった自然空間など様々な憩いの場がございます。今後も市民の皆様のご意見を伺いながら、公園も含めた特色ある緑の空間を創出していきます。しかしながら、本市は、既に市街化されているため、都市計画において自転車道などを新たに位置づけることは困難です。そのため、限られた空間を有効に活用し、歩行者用路側帯・自転車通行帯の路面表示等による道路空間の活用・再配分などの検討を進めています。</p>
21	コミセン	<p>児童館的な役割をコミセンに入れてほしい。(ボードゲームやトランプや)</p>	<p>コミセンでは、児童館との共催で「コミュニティわいわい広場」(移動児童館)を月1回程度各コミセンを巡回して開催しています。またその他にも各コミセンで子どもを対象とした活動を行っています。</p>
22	タウンミーティング	<p>今日のタウンミーティングも、もしかしたらタウンミーティングの中では遅い時間設定なのかもしれないが、まだ早く、金曜日の9時とか10時だともっと大勢のお父さんが、仕事を終わった後に来れる。</p>	<p>これまでもテーマや対象者に合わせ、曜日、時間帯を工夫しておりますが、今後も、共催団体や協力団体と協議しながら、テーマに併せた時間設定を検討してまいります。</p>
23	広報	<p>このタウンミーティングも、知人に誘われなかったら来ていない。私の情報摂取が足りないのかもしれないが、もう少しインプットがあれば行くだろうし、市が全てやれという話ではないと思うが、もっと情報が欲しい。</p>	<p>タウンミーティングの開催にあたりましては、市報のほか、ちらしの設置や共催、協力団体を通じての広報などを行っております。最近ではフェイスブックやツイッターでの情報発信を行うなど、市民の皆様幅広く情報を伝える方法を検討してまいります。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
24	コミュニティ	<p>一生懸命市報やチラシでPRしても、やはりコミュニティには勝てない。コミュニティがちゃんとしていて、情報を交換するということが大事だと思う。市は、ハード的な面をそろえるだけではなくて、コミュニティをつくることを支援するような、ソフト的な支援をお願いしたい。</p> <p>こういった出会いがあるとその中でコミュニティというのは動いていくと思うが、そのきっかけをもっとこう増やすための仕掛けが必要ではないかと思う。</p> <p>どうしても会社で働いていると、家には寝に帰るだけの状態だ。そういうメンバーがその地域のコミュニティに全然参加していないが、そこをどうやって引っ張ってこれるのかという課題があり、もやもやしている。しかし、そういう方が市の中でマジョリティだと思う。その人たちの声が届かないというのはどういうことなんだろうというのを思っていて、そういう人たちがいかに参画しやすくするかというのを考えていただけたらと思う。</p> <p>その地域の人たちがなるべく簡単にイベントで、ちょっとしたボランティアができるような雰囲気が必要だと思う。</p> <p>コミセンみたいなものもあって、そこに行くとおやじたちがいろいろな無駄話をしていたり、ダンスをしたり、ブリッジをしたりして、地域のコミュニティがある。日本の場合も、立派なコミュニティセンターあるから、こういうのを使っていかなければいけない、それを活性化するための努力というのは大事ではないかと思っている。</p>	<p>コミュニティ協議会が各地域でコミュニティづくりの様々な活動を行っていますので、市報、ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどを通じて情報提供に努めます。また、地域の皆さんが誰でも楽しみながらコミュニティに参加できるよう、コミュニティ協議会とともに考えていきます。</p> <p>平成25年9月に「これからの地域コミュニティ検討委員会」を設置し、地域コミュニティやコミュニティセンターのことを検討していきますので、今後ご協力ください。</p> <p>地域のボランティアについて、地域福祉活動推進協議会(地域社協・福祉の会)やボランティアセンター武蔵野(VCM)などでイベントを行っている。広報誌「ふれあい」や市民社協HPでお知らせしているので是非活用していただき、興味のあることに参加していただきたい。VCMでは「お父さんお帰りなさいパーティ」を実施しています。仕事を卒業した男性向けに、地域とのかかわりを持つきっかけとするもので、様々なNPO活動やボランティア活動、趣味の会の紹介をしています。VCMは土曜日も開いております。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
25	市民活動支援	<p>コミュニティの中の連絡手段を考えた時に、メールでもちらしでも、たまたま得意な方がいらっしゃる時はそうやってできると思うが、そうじゃなくて、何かやりたくて集まったとしても、そこまで時間がかけれないという人も多いので、コミュニティが失速していくことが多いと思う。</p> <p>例えばここに来れば、コミュニティが簡単に立ち上げられますよとか、日々の連絡はこうやってください、何かイベントをする時、地域の人巻き込みたいのだったら、ここに言っただければ、例えば広報をこの地域で手伝いますよというお手伝いをする仕組みが必要なのかと思う。</p>	<p>武蔵野プレイスには、市民活動フロアがあり市民活動の拠点になっています。市民活動団体への情報提供や相談、これから活動をしたいと考えている個人・団体への支援、NPOの設立、財務、会計相談、その他の相談・支援を行い、広報紙を発行して各種イベントや市民活動情報をお知らせしています。</p>

3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています)

1	つながっていく力。互いに顔を合わせ、言葉を交わすことの大切さ。積み重ねていくことが肝心だと思いました。
2	自分が知らなかったイベントや取り組みが多々あることが参考になった。それらに対する理解を深めたうえで、またこの様なイベントに参加したいと思います。
3	様々な意見を聞いて有益であった一方で、テーマがばらばらで浅い議論になっていたように思う。グループに分けて進めるなど、より深い議論を促しファシリテーションの仕方を検討しても良いかと思う。
4	地域コミュニティにお父さんたちを誘うことにどこの地域や団体も四苦八苦していると感じました。
5	19時からスタートというのは参加しやすい。知らなかった市の取り組みを知れて、非常に役立った。話が散漫になるので、テーマを決めてそのテーマで複数人の意見を聞いても良かったのでは？

第51回 市民と市長の

市長と市民が意見交換を行います。
あなたの声をお聞かせください。

テーマ別

タウンミーティング

テーマ

武蔵野の魅力 ～『おやじ』の視点から～

女性の皆さんも大歓迎！

開催日時

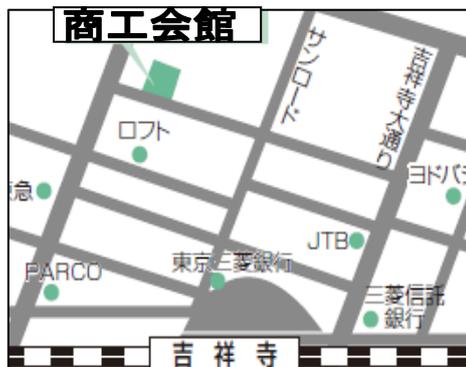
6月28日 (金)
19:00～20:30

内容

今回のタウンミーティングは、
子育て経験のある
父親を中心とした皆様が、

市長と武蔵野のまちづくりについて
意見交換を行います。

会場



武蔵野商工会館
4階 市民会議室
(武蔵野市吉祥寺本町1-10-7)

当日、直接会場へお越しください。
お車でのご来場は、ご遠慮ください。

主催

武蔵野市

協力

四中父親懇談会有志

問い合わせ

武蔵野市役所 市民活動推進課(西棟7階)
TEL0422-60-1829 FAX0422-51-2000

第51回

市民と市長のタウンミーティング

〈テーマ〉

武蔵野の魅力～『おやじ』の視点から～



武蔵野の魅力を考えるキーワード

親子イベント

防災・防犯

自転車

学校

通勤

子育て

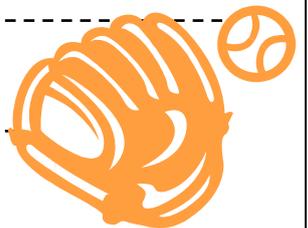
街並み

地域とのつながり

買い物

父親同士のつながり

当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記枠内にお書きになり、市役所（7階）市民活動推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAXで市民活動推進課（0422-51-2000）にお送りください。



第51回

テーマ別
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成25年9月
武蔵野市 市民部 市民活動推進課
武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話(0422)60-1829 (直通)